

福島潟の環境保全と普及活動 ーサワオグルマをはじめとする湿生植物の 保護と市民が親しむ水辺環境の充実ー

ひろげる助成

3年目

実践

木道の設置距離 600m

植栽した面積 1,800㎡

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 100%



木道まわりに咲いたサワオグルマの小道

課題

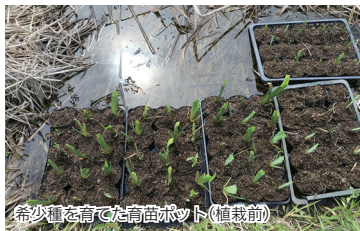
新潟市の準絶滅危惧種であるサワオグルマやカキツバタなどの群生地を拡げ、学習園の木道整備や案内活動を通して魅力あふれる福島潟を創造すること。

目標

生物多様性が維持される中で四季の変化にあわせた希少種の観察会が実施されること。木道やデッキを整備し天候に左右されない湿地整備が進み来訪者が増加すること。

活動内容と成果

①湿地のため腐食が進んでいた古い木道ををはがし、新しい木道に取りかえる作業を行った。地元の大工棟梁の指導を受け、高校生に運搬等の作業を手伝ってもらいながら新木道や橋等を設置した ②サワオグルマの生育地を拡げるため、開花後に種をとり育苗ポットで育て、秋に株を植栽する作業を行った。あわせて、来訪者の多い潟来亭（施設の中心地）からみえる場所にも新たな群生地をつくる取組を市民とともにに行った ③春と夏に潟案内を行い278人の来訪者に群生地を紹介することができた。



希少種を育てた育苗ポット（植栽前）



木道設置作業に参加した高校生・大学生

全助成期間の活動を振り返って

今後もサワオグルマをはじめとする潟の希少種を市民とともにひろげ潟案内や観察会を通して多くの人々に潟の魅力を伝えたいと考えている。完成した木道や観察デッキ・ベンチは群生地の保護にも役立って「気持ちよく観察できる」と好評である。群生地の整備には多くの人々の協力が不可欠であった。特に若い世代との共同作業は活気にあふれ活動のバトンを渡せる若者たちに出会えた感謝している。

活動地域 | 新潟県

〒950-3328 新潟県新潟市北区前新田乙493番地

水の駅「ビュー福島潟」3階

電話：025-387-2745

E-mail：fukusimagata@ybb.ne.jp

http://www.geocities.jp/fukusimagata/



今後の
展望

サワオグルマやノハナショウブの群生地の拡大に続き初夏のカキツバタの群落づくりや秋のハナニガナやサクラタデをはじめとする植栽の幅を広げていきたい。案内や観察会を充実させるためにも会員増や潟案内人の養成活動も進める必要がある。豊かな自然を求めて「何度でも来なくなる福島潟」を目指して今後も活動をすすめていきたい。